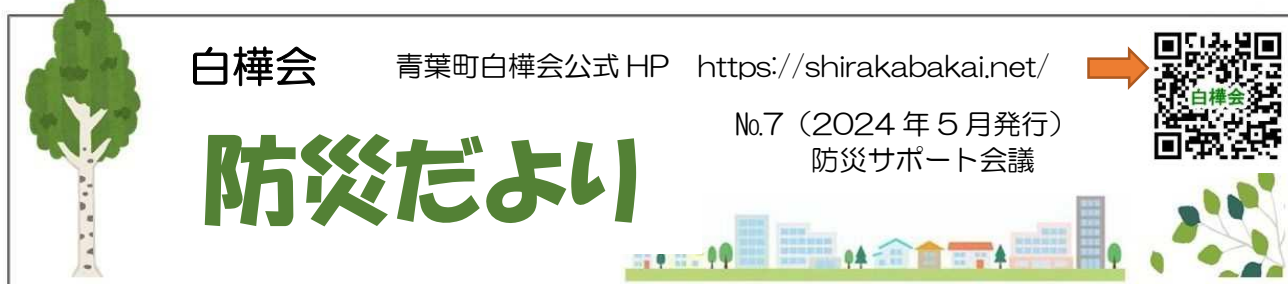


※本紙は、町内会に加入していない世帯にも投函しております。



皆さん、こんにちは。定期総会も無事に終わり、新しい年度の活動が始まりました。そして、この4月から防犯防災部長が替わりました。昨年度10班班長であり、防災サポーターも務めていた大越展子さんが新たな防犯防災部長となりました。どうぞよろしくお願いたします。



大越防犯防災部長

さて、前号を昨年12月に発行した際、「白樺会は比較的安全な立地にありますが、予測がつかないのが災害です」と書きました。その直後の元日に、能登半島地震が起き、今も8,000人を超える方が避難所生活を余儀なくされています。白樺会では義援金を送らせていただきましたが、一日も早い復興を心からお祈りいたします。

私たちは幸いにも無事に過ごせることに感謝しつつ、改めて災害への物心両面の備えを確認したいと思います。以下、昨年度と同様の内容ですがご確認ください。

1. お近くに災害時に安否を気にかけてくれる人はいますか？

白樺会の地区も高齢化が進んでいます。災害時に同居家族や近くに親戚の方などがいると安心でしょうが、そういう方がいない場合に備え、白樺会には防災サポート制度があります。地震などの災害時、登録されている世帯に防災サポーターが連絡をして安否を確認し、必要な場合は公的な機関によるサポートへとつなぐものです。登録された世帯には「安否確認表示カード」をお渡しするなどもしていますので、安否を気にかけてくれる方が遠い場合などは、ぜひお気軽に登録してみてください。新たに災害時の安否確認を希望される方は、大越防犯防災部長または各班の班長さんまでお知らせください。また、防災サポーターをしてみようと思われた方も、ぜひお知らせください。

2. 自助の備えを

白樺会は比較的安全な立地条件にありますが、いつ、どんな状況になるかは計り知れません。日頃の備えこそを大事にしていきましょう。備えのためには、札幌市の『さっぽろ防災ハンドブック』や『自主防災ハンドブック』がとても参考になります。裏面の「非常持出品」は、『さっぽろ防災ハンドブック』に掲載されているものです。これらの冊子は区役所で配付している他、札幌市のホームページから見ることもできます。ぜひご活用ください。 <https://www.city.sapporo.jp/kikikanri/aramasi/panf.html>

※本紙は、町内会に加入していない世帯にも投函しております。

『さっぽろ防災ハンドブック』9ページより

非常持出品

すぐに避難できるように最低限必要なものを非常持出品として準備しましょう。
非常持出袋は、両手が空くリュックバッグが便利です。重すぎないかどうか背負ってみましょう。
衣替えのタイミングで非常持出品も見直す習慣をつけると安心です。

貴重・便利品

- 現金（10円や100円硬貨を含む）
- 健康保険証
- 身分証明書（運転免許証・パスポートなど）
- 懐中電灯・ヘッドライト（1人1つ）
- ホイッスル・ブザー（音を出して居場所を伝えるもの）
- 万能ナイフ
- レジャーシート
- マッチまたはライター
- 携帯トイレ
- スリッパ
- 軍手または革手袋
- レインウェア
- アルミ製保温シート
- 携帯電話等の充電器・モバイルバッテリー
- 防寒着
- タオル
- 携帯ラジオ
- 防災ヘルメット



食料

- 飲料水（500ml×2本程度）
- 非常食・お菓子

衛生

- 救急セット（ばんそうこう、包帯）
- 歯ブラシ
- 常備薬
- 消毒薬
- 洗面用具
- 体温計
- 生理用品
- マスク

3. 防災アプリ「そなえ」

札幌市が提供しているスマートフォン向けアプリケーション「そなえ」も便利です。右のような画面から、ハザードマップを見ることができたり、避難指示等の発令情報、避難場所開設情報、Jアラート情報、気象情報、地震情報等の緊急情報を得られたり、GPSによって測定された現在位置を中心に地図上に周辺の避難場所が表示されたり、事前に登録した家族等のメールアドレスへ、簡単なメッセージと自分の位置情報を発信したりできます。

活用されてはいかがでしょうか。

Android用



iPhone用



防災アプリ「そなえ」の画面